パートナーと進めるDify活用

RICOH
imagine. change.

株式会社リコー

自己紹介

RICOH
imagine. change.

登壇者：　萩原　智

所属：　株式会社リコー　デジタル戦略部 プロセス・ＩＴ・データ統括
ワークフロー革新センター プロセスＤＸ開発室 ＣｏＥ推進グループ

＜2017年~2021年＞
AIを活用したシステム開発

・波形データによる異常検知ソリューション
・**自然言語処理AI技術を活用したソリューション**

＜2022年~＞
社内の市民開発者（CD）によるデジタルツール活用推進・展開

・Microsoft 365（Power Platform）
・Axon Ivy（プロセスオートメーションツール）
・**Dify**

© Ricoh

リコーのプロセスDX・市民開発の取組

RICOH
imagine. change.

Microsoft 365

Dify
生成AIプラットフォーム

Notes Domino

RPA

UiPath

時代に最適な先端のツールを駆使して業務変革を推進

各種ツールの使いこなしでデジタルサービス企業を目指す

© Ricoh

Dify社内展開

RICOH
imagine. change.

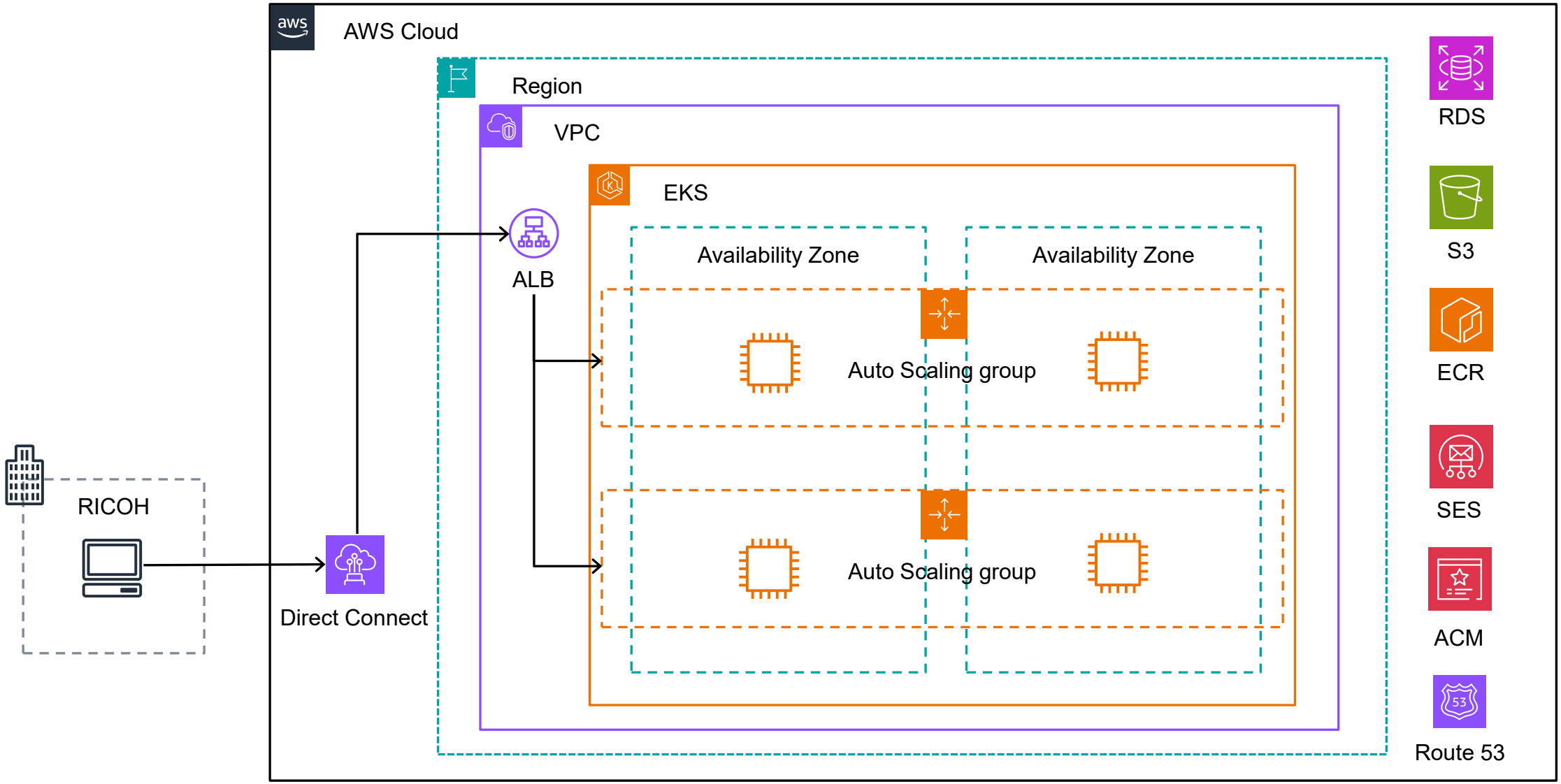
2024/04	2024/11	2025/02	2025/06	2025/08	2025/10
GGプロジェクト（業務可視化）開始	Dify Enterprise 導入 パートナー契約締結	CoE設立 社内ポータルコミュニティ	「1人1個Dify」開始	全社展開開始	WS数 400 over ユーザー数 2,000 over

2024/04	2024/12	2025/02	2025/07	2025/09
Dify Community ツール検証開始	Dify Enterprise 構築完了 (AWS)	先行ユーザー展開	V3.0系統 大幅Update 完了	ネットワーク移行 リソースチューニング V3.5系統 アップデート

2024年 → 2025年

© Ricoh

Dify Enterprise システム構成（AWS）



© Ricoh

AWS Native

RICOH
imagine. change.

AWS Native

- AWSのマネージドサービスをフルに活用し、効率性の向上、コストの削減、可用性の確保を目指す

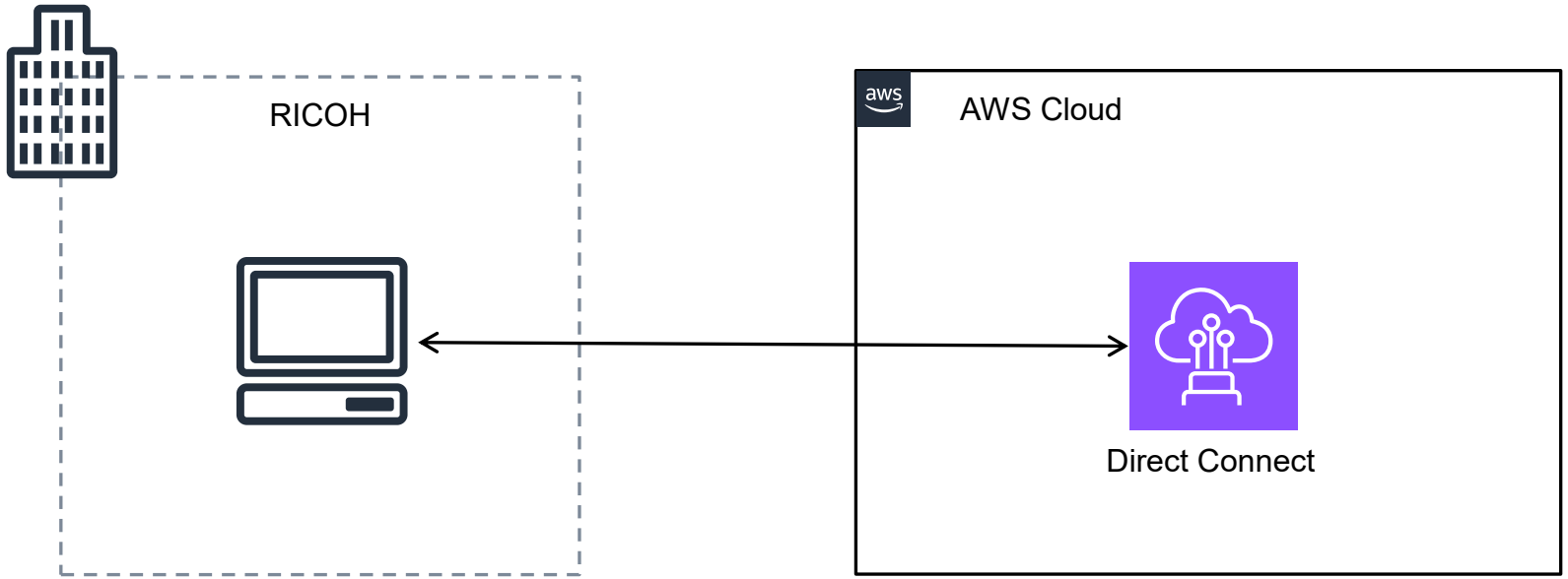
サービス	
Amazon EKS	Kubernetes サービス - Dify Enterpriseの各サービスが実行される環境
Amazon RDS	リレーショナルデータベース - Dify Enterpriseのシステムデータベース
ALB (Elastic Load Balancer)	ロードバランサー - TLS終端、EKS内部でのPod入れ替え時等の影響緩和
Amazon S3	オブジェクトストレージサービス - システム内部ファイルやアップロードされたファイルの保存場
Amazon SES	E メールサービスプロバイダー - Dify Enterpriseのメンバー招待メール送信など

© Ricoh

専用線環境

AWS Direct Connect

- インターネットへの露出を最低限にし、社員が機微な情報を安心・安全に扱えるような構成
- 社内システムとの連携のハードルを下げる



Route 53

© Ricoh

Dify Enterpriseの活用度（10/31時点）

RICOH imagine. change.

利用者（月間）	1,894 人	アプリ作成数	5,806 個
開発者	2,285 人	ワークフロー実行回数（月間）	73,116 回
WS数	469個	アップデート回数	7回
グループ企業利用	11社横断利用	トークン使用量（月間）	2,092,000,000

© Ricoh

市民開発におけるCoEの必要性

RICOH
imagine. change.

CoEの役割と重要性

- ナレッジの集約と共有:
組織内外の知識やベストプラクティスを集約し、全社的に共有する役割を担う。
これにより、各部門が独自に開発を進める際の重複や無駄を減らし、効率的な開発を可能にする。

- ガバナンスの強化:
開発プロセスや標準を整備し、全体の品質と一貫性を保つ役割を担う。
市民開発では複数の部門やチームが関与するため、統一されたガバナンスが必要になる。

- 技術支援とトレーニング:
技術的な支援やトレーニングを提供し、開発者のスキル向上をサポートする。
市民開発者が最新の技術やツールを効果的に活用できるようにする。

- ベンダーとの連携:
ベンダーとの交渉や連携を一元化し、最適なソリューションの導入を推進する。
コスト削減や技術サポートの効率化が図れる。

- プロジェクトの推進とモニタリング:
重要なプロジェクトの企画・推進を行い、その進捗をモニタリングする。
プロジェクトの成功率を高め、迅速な意思決定が可能になる。

やる場
（活動できる）

やる気
（活動がわかる）

やる腕
（スキル向上）

© Ricoh

Dify Enterprise環境（やる場）

RICOH imagine. change.

Dify Enterprise機能の使い倒し

- 会社の認証基盤と連携

- ワークスペース
  - 業務目的ごとに分離
    - 部署単位にすると組織変更したときに追従する工数が膨大になる
  - 開発するためのモデルプロバイダー設定
    - RAGアプリケーション開発が最低限できる

- ガバナンス
  - プラグインのインストール設定
    - 公式のみ、マーケットプレイスインストールに制限
  - 認証管理機能
    - CoEが管理しているLLMをまずは利用してもらう

© Ricoh

Dify Community 環境（やる場）

最新機能の使いこなし

- Dify Community
  - 最新機能の確認・調査（CoE）
    - Enterpriseに反映されたときのガバナンス・ルールの検討
  - アーリーアダプタ向け（市民開発者）
    - 感度が高いユーザのみ利用
    - ただし、安定的な業務利用にはDify Enterprise環境を推奨

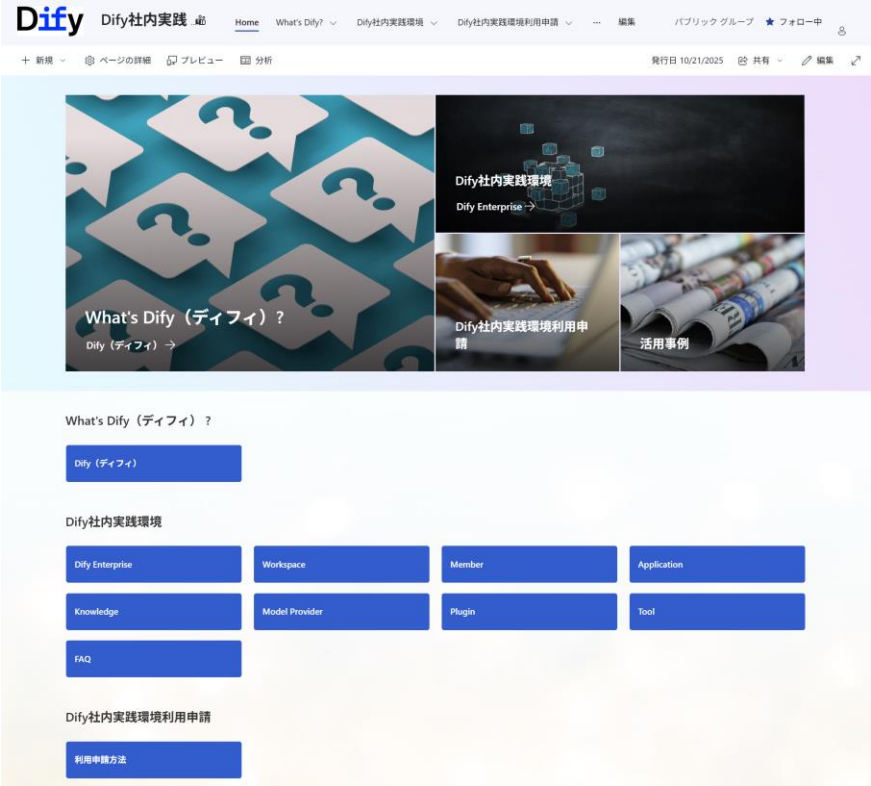
⇒ 市民開発者が“安心してアクセルを踏める”環境 (Enterprise)を整備しつつ、
自律的な活動を厳しくしすぎない、オープンな形で推進・展開

© Ricoh

社内ポータル、コミュニティ（やる場）

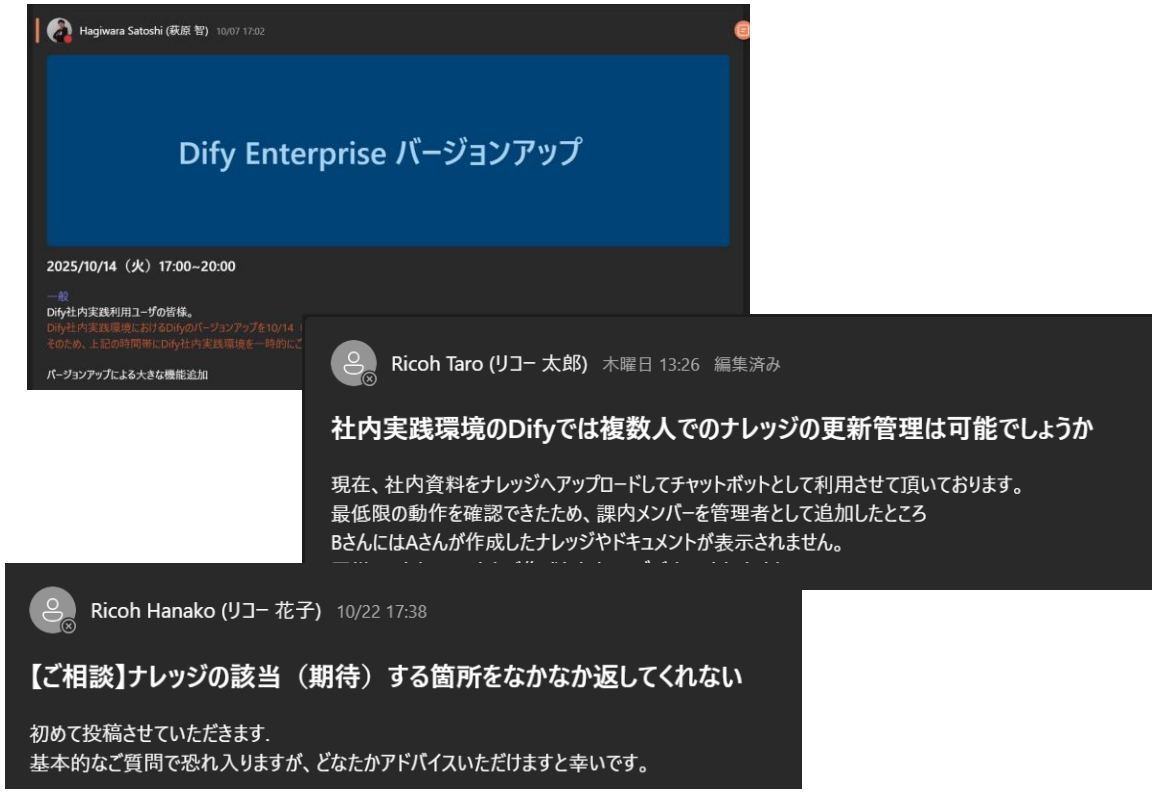
社内ポータル（Dify社内実践環境運用サイト）

- Difyの基本知識
- Dify Enterprise利用時の注意事項
- Dify Enterprise利用申請方法



コミュニティ（Difyコミュニティラウンジチャネル）

- CoEから利用ユーザへのアナウンス
- 利用ユーザ間のコミュニケーション



© Ricoh

事例発表大会、1人1個Dify（やる気）

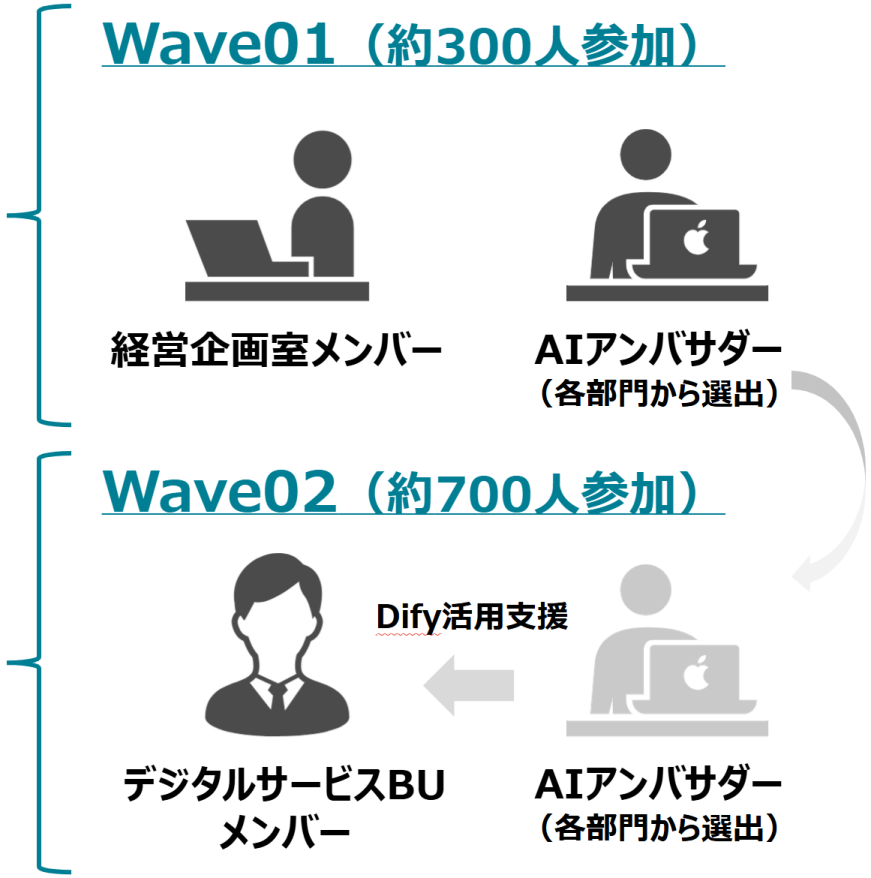
RICOH imagine. change.

事例発表大会

- 市民開発者が作成したアプリケーション・事例を共有
- オンライン会議で実施し、**約1000人**が参加

1人1個Dify

- 個人や顧客課題問わず、身近な事例から生成AIを使って課題解決を実施する

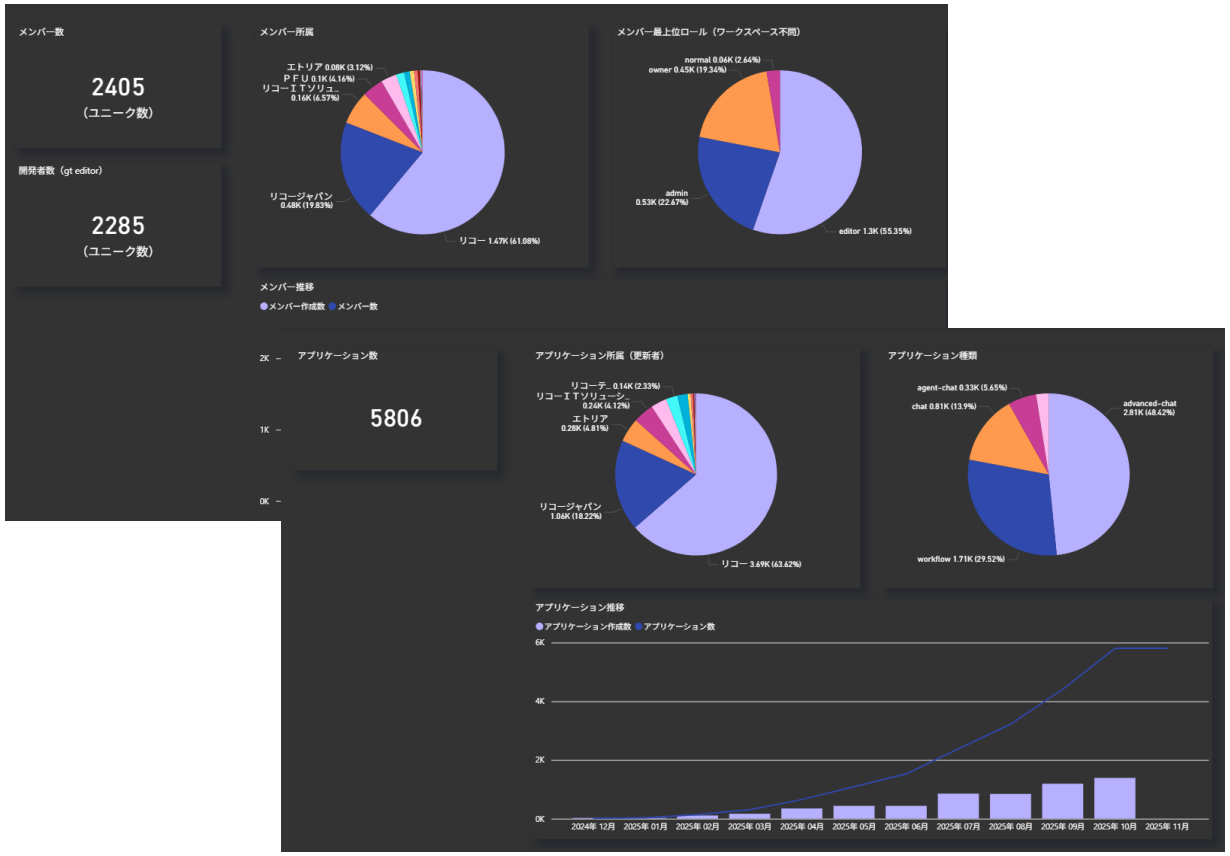


© Ricoh

利用状況の見える化（やる気）

利用状況の見える化

- Difyのデータベースを基に利用状況の見える化
  - メンバー数
  - アプリケーション数
  - etc..
- 会社の組織情報とのマージ
  - どの部門がよく利用しているか
  - 自部門と似た業務をしている部門ではどのようなアプリケーションを作成しているのか
  - etc…



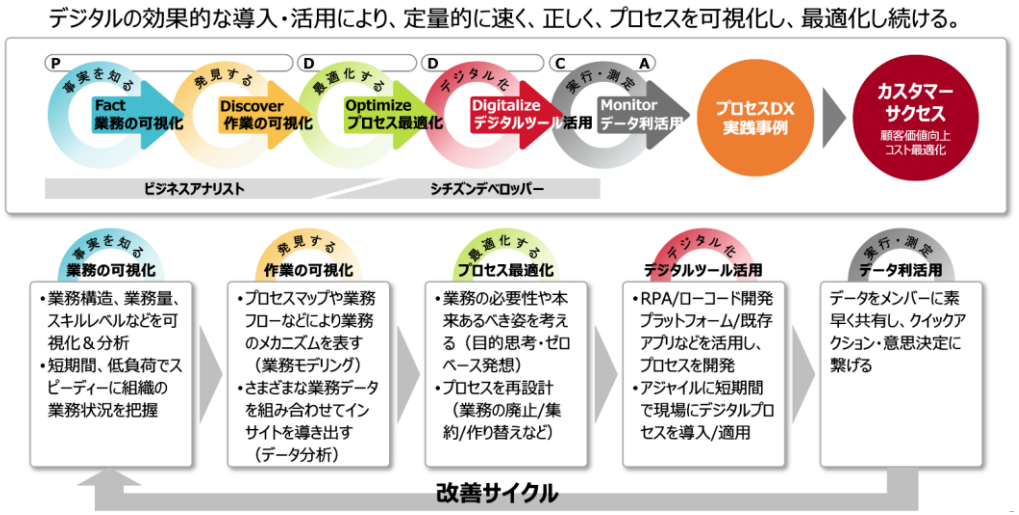
© Ricoh

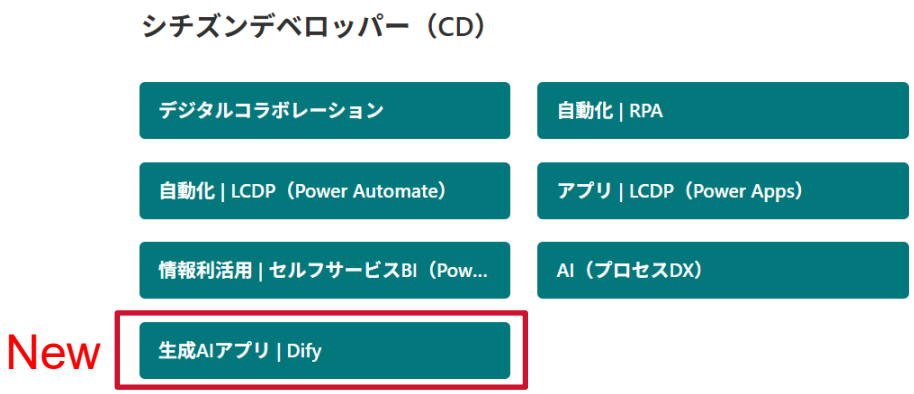
認定制度（やる腕）

RICOH imagine. change.

認定制度

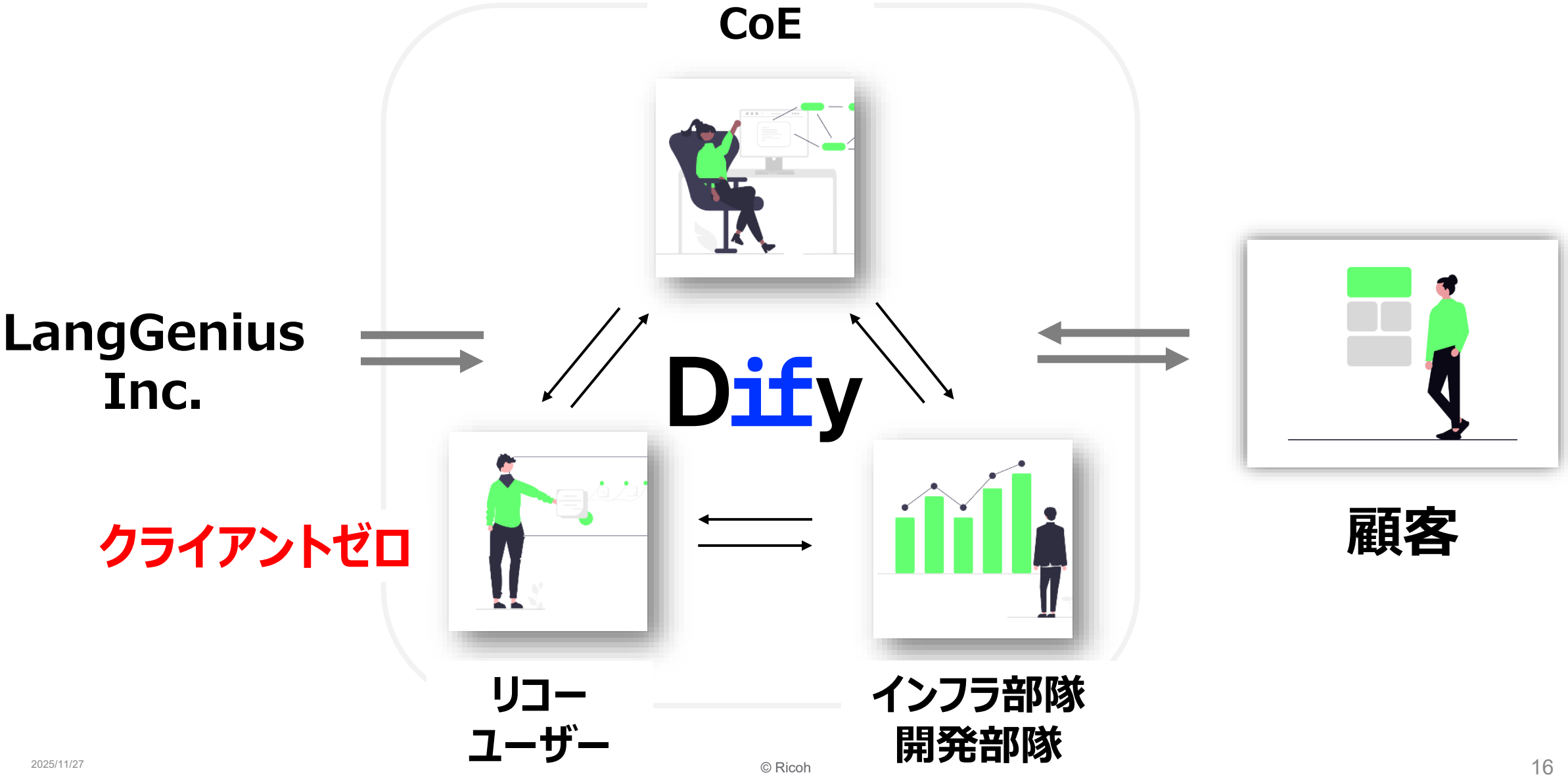
- **プロセスDX人材**
  - リコーでは、全社員が業務に対してプロセスDXを推進できる姿を目指す
    - 市民開発者だけでなく、ビジネスアナリストも含めたコンテンツ
  - ツールごとにスキル設計したステージ制
- 市民開発者のスキルの一つとしてDifyを追加予定（FY26）





© Ricoh

Difyによって広がるAI活用の社内外のエコシステム



© Ricoh

リコーのDify提案

RICOH imagine. change.

Difyパートナーとしての提供メニュー

- ライセンス提供
- 構築サービス
- 技術伴走支援
- 利用教育支援

＋

社内実践で得られた知見

- 社内展開施策
- 展開加速の為の仕掛け
- ガバナンス施策
- インフラ最適化
- 直面した課題

© Ricoh

他パートナーと比較した、リコーの強み

RICOH imagine. change.

社内Dify推進部門のガバナンス環境下で、Community版を活用した最新機能の検証を実施し、それらを社内一般ユーザー向けにEnterprise環境で展開・利用できるスキームを用意しており、適宜アップデートされる一連のノウハウ（構築、社内推進/展開、etc・・）をもとにサービス提供いたします

① Community版

アーリーアダプタ向け

- OSSで最新機能を即時活用/検証
- 必要な機能を精査

→

② Enterprise版

社内一般ユーザー向け

現アクティブユーザー約2000名が実業務で活用

→

③ お客様への価値

- ライセンス提供
- 構築/伴走/教育支援
- リコー独自プラグイン（※今後予定）
- 個別アプリ作成支援（※今後予定）

etc..

© Ricoh

Difyパートナーとしてリコーが目指すところ

RICOH
imagine. change.

- ✓ リコーグループ全社員がAIを使い倒す未来を目指す。
- ✓ 自分たちで使い倒す中で、得られた知見に留まらず、つまづいた課題を顧客に共有する。
- ✓ 実体験に基づいたAI促進・DX活用を顧客に提供していく。

© Ricoh